

日本学術会議
東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第23期・第6回）
議事要旨

日 時：平成28年12月9日（金） 15：00～17：00
場 所：日本学術会議5階 5-C（1）会議室
出席者：岩澤委員長、福田副委員長、岡田委員、佐藤（岩）委員、廣瀬委員、渡部委員、
矢川委員、佐藤（慶）委員 8名
欠席者：山川幹事、目黒幹事、向井委員、山下委員、山本委員、大久保委員、和田委員、
沼田委員 8名
事務局：石井参事官、松宮補佐、鈴木参事官付、大庭参事官付
配布資料：資料1 前回議事要旨（案）
資料2 提言（または報告書）のイメージ（案）
資料3-1 「東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケート」
実施報告
資料3-2 「東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケート」
回答画面
資料4 「東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケート」
基礎集計
資料5 「東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケート」
主要自由回答（一部抜粋）
資料6 とりまとめの分担について
資料7 「自由回答」のテキスト分析事例

参考1 委員名簿

議事：

1) 前回議事要旨（案）の確認

資料1に基づいて、前回議事要旨（案）が確認され、了承された。

2) 提言（または報告書）のイメージ（案）

佐藤（岩）委員より、資料2・資料3-1・資料3-2に基づいて、提言（または報告書）のイメージ（案）に関する説明があった。その中で、資料2の要旨のうち、「3. 調査結果の概要：単純集計」及び「4. 論点ごとの集計・分析（＝提言等のエビデンス）」に関しては、調査結果を客観的に示す箇所である旨が伝えられた。

3) WGが作成した統計処理、集計、クロス表、自由記述などの資料について

議題2に引き続き、佐藤（岩）委員より、資料4に基づいて、WG（佐藤岩夫委員、廣瀬委員、佐藤慶一委員、沼田委員で構成）の作成資料について説明があった。

4) 特徴・課題の分析についてとりまとめの分担について

とりまとめに向けた今後の方針について審議がなされ、以下の事項が決定された。

- 意思の表出の形態としては、「提言」を目指す。
- アンケートの詳しい集計結果等は、提言の「付録」とする。
- アンケート結果について、アンケート問3の専門分野に基づいて委員で分担し、「分野別メモ」を作成する。なお、分野別メモ作成に係る決定事項は、以下の通りである。

①用途

「提言」作成の際の基礎資料とするとともに、そのままの形で「付録」に収録する。

②分担

平成28年9月5日（月）の拡大役員会で決められた通り、下記の通りとする。

※番号は、アンケート問3の選択肢の番号。

- 1・2 →岡田委員
- 3・4 →廣瀬委員
- 5・6 →山川幹事
- 7・8 →佐藤委員
- 9・10 →山川幹事
- 11・12 →福田副委員長
- 13・14 →渡部委員
- 15 →山本委員
- 16 →山下委員・向井委員
- 17～19 →山下委員
- 20～22 →矢川委員
- 23 →大久保委員
- 24 →目黒幹事
- 25 →岩澤委員長
- 26 →矢川委員
- 27・28 →和田委員
- 29 →和田委員・目黒幹事
- 30 →和田委員

なお、「31複合領域」に関しては、その内訳として記載している中の第一分野により分担を決定する。

③作成のための資料

- ・基礎集計表
- ・主要自由回答一覧

を、1月上旬を目途に事務局より電子媒体で各委員に送付する。

なお、主要自由回答一覧に関しては、担当ごとにソーティングしたファイル及び全体のファイルの二種類を送付する。また、担当箇所（複合領域の中で担当がある場合はそれも含む）のみ、紙媒体でもお送りする。

④内容・分量

委員は、分担に沿って担当分野について以下の点をメモにまとめる。

- ・アンケートから読み取れる「学術調査・研究活動」の特徴
- ・アンケートから読み取れる「学術調査・研究活動」の課題
- ・特徴、課題を踏まえた提言等

分量は、分野あたりA4判0.5～2枚を目安とする。

⑤提出締切

平成29年2月28日（火）とする。

5) とりまとめの分担（委員全員）について（前回決めた分担を確認/変更）議題4）の中で確認を行ったとおり。

6) 提言（報告書）とりまとめのための今後の進め方と日程について今後の進め方は、以下の通り。

平成29年

- ・ 1月上旬頃 WGでアンケート結果の基礎集計・主要自由回答一覧の最終版をまとめる
- ・ 2月28日 分野別メモの提出締切
- ・ 3月29日 第7回委員会開催（分野別メモの検討等実施予定）
- ・ 4月 役員+WGを中心に、「提言」の原案作成
- ・ 4月総会時 福田副委員長より、中間とりまとめの報告を行っていただく
- ・ 4月末 第8回委員会開催（「提言」の原案検討予定）

修正の後、査読手続へ。

上記スケジュールで進めるべく、4月末の日程調整を事務局で行うこととなった。

また、当初日程確保していた1月30日の委員会については実施しないこととなり、3月29日の委員会は1時間開始時間を繰り上げて実施することとなった。

7) その他

山川幹事から送られてきた、「自由記述」のテキスト分析事例の資料については、次回委員会でご説明いただくことになった。

以上